

(需要動向)

【小麦】

総人口がやや減少に転じているが、  
1人当たり消費量が安定しており、  
需要は大きく変動していない

新型コロナウイルス感染症の影響により、  
外食需要の低迷から需要が減少するも、  
近年はやや回復基調

(単位: 万トン)

年度	総需要量
平成27	582
28	583
29	582
30	573
令和元	570
2	554
3	554
4	555
5 (見込み)	558
6 (見通し)	556

(算定方法)

【令和3年度まで】

過去7年間の平均により算出

【令和4年度】

過去3年間の平均により算出

【令和5年度】

前年度と同じ対前年度比により算出

【令和6年度(案)】

過去3年間の平均により算出

【大麦・はだか麦】

総人口がやや減少に転じているが、  
1人当たり消費量が安定しており、  
需要は大きく変動していない

(主食用)

・もち麦ブームが落ち着き、令和元年度から減少傾向も、近年は横ばい

(焼酎・麦茶用)

・焼酎は、減少傾向にあるも、令和元年度以降横ばい

・麦茶は、ノンカフェイン需要から増加傾向

(発泡酒等用)

・外食需要の低迷に伴い、令和3年度から減少傾向

(単位: 万トン)

年度	総需要量
平成27	33
28	34
29	34
30	36
令和元	35
2	35
3	32
4	32
5 (見込み)	31
6 (見通し)	32

【令和4年度まで】

過去7年間の平均により算出

【令和5年度】

過去7年間の平均(34万トン)に  
近年の主食用の需要減を考慮した算出

【令和6年度(案)】

過去3年間の平均により算出